



日本フードサービス協会加盟会員社による
外食産業市場動向調査
2020（令和2）年3月度 結果報告

一般社団法人日本フードサービス協会（略称：JF＝ジェフ 本部：東京都港区 会長：高岡慎一郎）は協会会員社を対象とした外食産業市場動向調査令和2年3月度の集計結果をまとめました。

「外食産業市場動向調査」は新規店も含めた「全店データ」を業界全体及び業態別に集計し、前年同月比を算出しております。

＜外食市場 3月の動向＞

新型コロナウイルスの影響が直撃し、売上は前年を大幅に下回る

＜全体概況＞

3月は、外食産業も新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の影響を大きく受けることになった。2月最終週の政府による大規模イベントなどの自粛要請以降、店内飲食の客数が繁華街立地、ディナー時間帯、土日祝日での減少が顕著で、居酒屋・DRなど飲酒業態を中心に、FR、大型商業施設のフードコートなどの売りに上げに大きな打撃となった。特に東京都から「週末の外出自粛」要請が出された3月下旬に一段と客足が落ち、3月の外食の全体売上は82.7%と東日本大震災の減少幅（前年比89.7%）を上回る減少となった。

なお、政府が「緊急事態宣言」を発令した4月は、店舗の「休業」・「営業時間短縮」が相次いでおり、3月以上の落ち込みが予想される（別添参照）。

＜業態別概況＞

ファーストフード業態

- FFは、引き続き、テイクアウト、宅配、ドライブスルーなど、「持ち帰り」需要が下支えしたが、商業施設のフードコートをはじめ店内飲食の客数が振るわず、全体売上は93.1%と前年を下回った。
- 「洋風」、「和風」、「その他」は店内飲食の減少を、持ち帰りが下支えし、それぞれ売上は99.1%、92.8%、90.7%。「麺類」は、商業施設立地の落ち込みが大きく、売上81.4%。「持ち帰り米飯・回転寿司」は、弁当・惣菜、回転ずしのテイクアウトなどの持ち帰り部分の下支えがあったものの、「回転寿司」の店内落ち込みが大きく、売上88.3%となった。

ファミリーレストラン業態

- 全体売上は78.8%と前年を大幅に下回った。
- 「洋風」と「和風」は、月後半にかけて客数が一段と下がり、売上はそれぞれ75.0%、69.6%。「中華」は、餃子などのテイクアウト・デリバリーが下支えとなり、売上は90.4%。これまで好調を続けてきた「焼き肉」もついに前年を下回り、売上は93.3%となった。

パブ・居酒屋業態

- 飲酒業態は、本来は送迎会シーズンの宴会需要が大きいはずだが、今年はキャンセルが相次いだ。郊外立地や地域密着店などでは当初比較的下げ幅が小さい店も一部あったが、2月最終週の政府の自粛要請による落ち込みと、3月下旬の東京都の「週末の外出自粛」要請による2段階の落ち込みで、軒並み売上は下がり、「パブ・ビアホール」は前年の半分にとどかず、売上46.5%、「居酒屋」は売上58.6%となった。

ディナーレストラン業態

- ディナーレストランは、繁華街立地の店の一部では集客がほぼ無い日があるなど、休業や時間短縮を余儀なくされる店も増えて、売上は59.5%となった。

喫茶業態

- 新型コロナの影響で、商業施設立地店の落ち込みが大きかったうえ、路面店でも客足が落ち、売上は75.3%となった。

この件のお問い合わせは事務局：松崎、石井までお願いします。 TEL:03-5403-1060

1)3月度全店データ

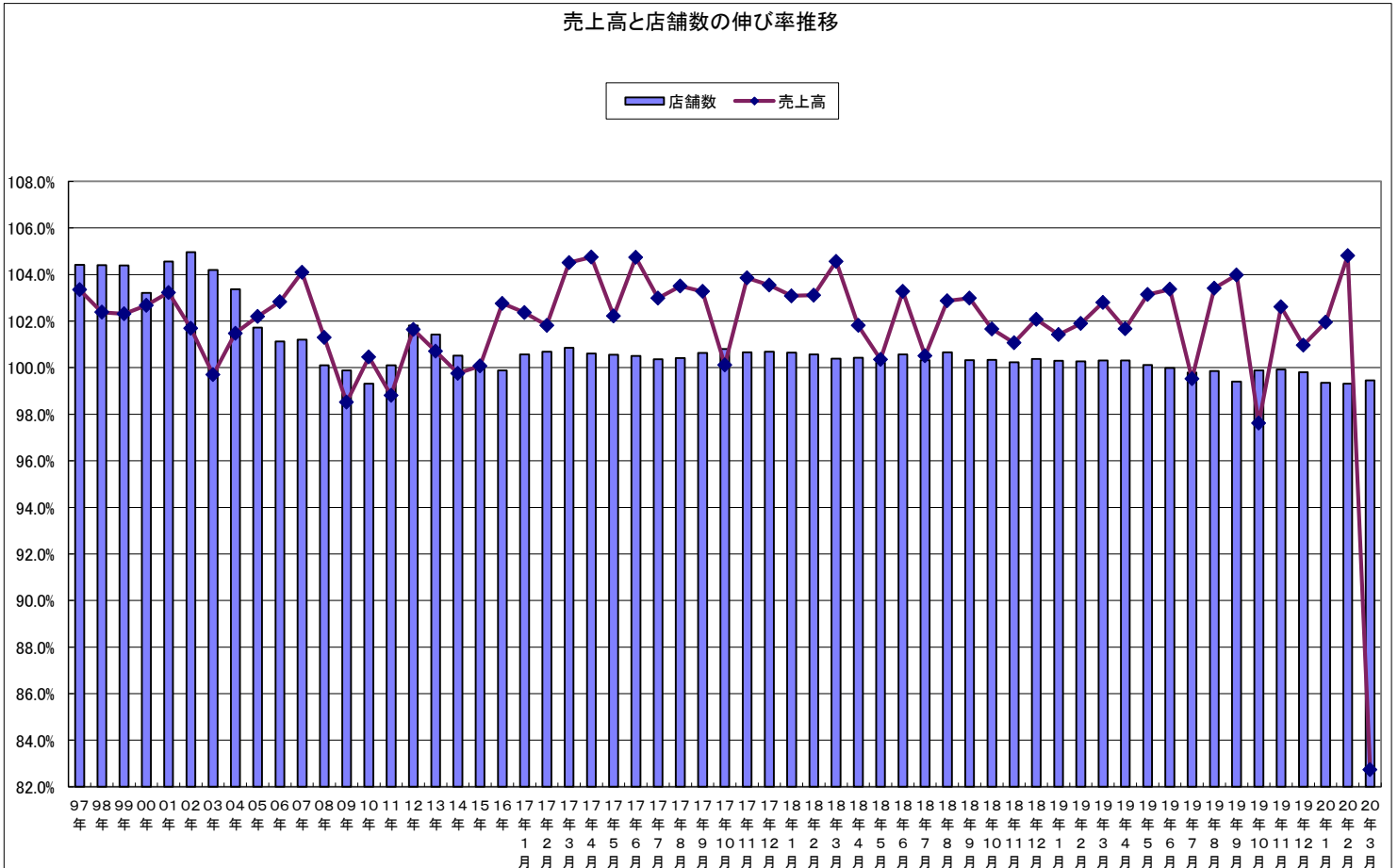
1. 全店データ (前年同月比)

		売上高	店舗数	客数	客単価
		事業社数	店舗数	前年比	前年比
	全体	(N=203)	(N=39165)	82.7%	99.5%
ファーストフード	合計	(N= 53)	(N=21552)	93.1%	99.1%
	洋風	(N= 12)	(N=6223)	99.1%	99.6%
	和風	(N= 17)	(N=5223)	92.8%	101.1%
	麺類	(N= 20)	(N=3225)	81.4%	100.2%
	持ち帰り米飯/回転寿司	(N= 15)	(N=4245)	88.3%	94.9%
	その他	(N= 10)	(N=2636)	90.7%	99.7%
ファミリーレストラン	合計	(N= 55)	(N=10395)	78.8%	102.0%
	洋風	(N= 25)	(N=5447)	75.0%	103.1%
	和風	(N= 26)	(N=2047)	69.6%	97.7%
	中華	(N= 13)	(N=1468)	90.4%	103.5%
パブ/居酒屋	合計	(N= 36)	(N=2849)	56.7%	97.1%
	パブ・ビアホール	(N= 9)	(N=335)	46.5%	98.8%
	居酒屋	(N= 31)	(N=2514)	58.6%	96.8%
ディナーレストラン (計)		(N= 28)	(N=1177)	59.5%	99.5%
喫茶 (計)		(N= 15)	(N=2049)	75.3%	100.0%
その他 (計)		(N= 16)	(N=1143)	61.7%	89.9%

*前年同月比は税抜比較で行っている。

*ファーストフード、ファミリーレストラン、パブ/居酒屋の各業態の内訳に関しては、重複する事業社があるため合計の数値は必ずしも内訳の累積に一致しない。

売上高と店舗数の伸び率推移



2. 全店時系列データ（前年同月比）

a. 売上高前年同月比

	19年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月
全 体	102.8%	101.7%	103.1%	103.4%	99.5%	103.4%	104.0%	97.6%	102.6%	101.0%	101.9%	104.8%	82.7%
ファーストフード	103.4%	102.7%	103.9%	105.7%	101.4%	105.1%	106.8%	100.6%	104.1%	103.5%	103.5%	109.8%	93.1%
ファミリーレストラン	102.3%	100.7%	103.4%	101.8%	95.6%	101.9%	101.3%	94.7%	101.9%	98.3%	100.2%	102.0%	78.8%
パブレストラン／居酒屋	101.2%	99.5%	100.5%	97.3%	98.6%	99.6%	99.3%	93.5%	98.5%	95.2%	101.0%	94.5%	56.7%
ディナーレストラン	103.8%	99.9%	100.9%	102.4%	102.1%	103.5%	102.1%	96.6%	104.1%	99.6%	102.3%	97.4%	59.5%
喫茶	101.1%	101.9%	102.3%	101.3%	103.7%	106.1%	108.9%	97.7%	103.3%	103.3%	101.3%	98.9%	75.3%
その他	101.7%	101.4%	99.0%	97.2%	100.0%	95.3%	88.1%	85.8%	90.6%	93.9%	95.0%	86.5%	61.7%

b. 店舗数前年同月比

	19年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月
全 体	100.3%	100.3%	100.1%	100.0%	99.8%	99.9%	99.4%	99.9%	99.9%	99.8%	99.4%	99.3%	99.5%
ファーストフード	100.6%	100.7%	100.4%	100.4%	100.3%	100.4%	100.3%	100.5%	100.6%	100.2%	100.0%	98.8%	99.1%
ファミリーレストラン	100.3%	100.1%	100.0%	99.9%	99.7%	99.7%	99.7%	99.8%	99.6%	99.8%	99.9%	101.8%	102.0%
パブレストラン／居酒屋	99.7%	98.7%	98.7%	97.7%	97.2%	96.9%	97.2%	96.7%	97.3%	97.5%	97.7%	97.7%	97.1%
ディナーレストラン	98.4%	98.1%	98.2%	98.4%	98.3%	98.7%	98.5%	98.6%	98.2%	98.4%	98.0%	98.8%	99.5%
喫茶	100.5%	100.3%	100.8%	100.6%	100.5%	100.9%	101.0%	101.1%	101.3%	100.9%	100.6%	100.3%	100.0%
その他	98.0%	100.7%	99.4%	98.8%	97.2%	97.5%	86.8%	96.4%	96.7%	97.4%	87.5%	90.0%	89.9%

c. 利用客数前年同月比

	19年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月
全 体	99.3%	99.4%	101.4%	102.1%	98.3%	101.2%	103.3%	94.6%	100.9%	100.9%	100.4%	101.8%	83.4%
ファーストフード	99.1%	99.7%	102.1%	104.3%	99.7%	102.6%	105.6%	95.8%	102.7%	103.4%	102.0%	104.9%	89.3%
ファミリーレストラン	100.0%	98.7%	100.9%	99.1%	93.8%	99.0%	99.0%	92.7%	99.1%	96.3%	98.2%	99.4%	77.4%
パブレストラン／居酒屋	100.8%	98.7%	101.6%	96.5%	97.6%	98.9%	100.1%	95.6%	98.3%	96.4%	100.6%	94.5%	59.9%
ディナーレストラン	102.0%	99.4%	100.1%	102.1%	101.9%	102.3%	101.9%	96.6%	102.8%	100.0%	101.2%	96.8%	60.9%
喫茶	99.2%	99.9%	99.8%	98.7%	100.4%	101.9%	104.5%	93.9%	98.4%	99.1%	96.6%	94.6%	74.6%
その他	96.4%	100.1%	96.8%	95.2%	98.5%	93.2%	90.4%	84.3%	87.0%	93.1%	93.5%	80.0%	66.7%

d. 客単価前年同月比

	19年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月
全 体	103.5%	102.2%	101.7%	101.2%	101.3%	102.2%	100.7%	103.2%	101.7%	100.1%	101.5%	102.9%	99.2%
ファーストフード	104.3%	103.0%	101.7%	101.3%	101.7%	102.5%	101.1%	105.0%	101.4%	100.2%	101.4%	104.7%	104.2%
ファミリーレストラン	102.4%	102.0%	102.5%	102.7%	101.8%	102.9%	102.4%	102.2%	102.8%	102.1%	102.1%	102.7%	101.8%
パブレストラン／居酒屋	100.4%	100.8%	98.9%	100.9%	101.0%	100.7%	99.2%	97.8%	100.2%	98.7%	100.4%	99.9%	94.7%
ディナーレストラン	101.7%	100.6%	100.8%	100.3%	100.1%	101.2%	100.2%	100.0%	101.2%	99.6%	101.1%	100.7%	97.7%
喫茶	101.9%	102.1%	102.6%	102.6%	103.3%	104.2%	104.2%	104.1%	105.0%	104.3%	104.9%	104.6%	101.0%
その他	105.4%	101.3%	102.3%	102.1%	101.6%	102.3%	97.5%	101.9%	104.1%	100.8%	101.7%	108.2%	92.6%

3) 「外食産業市場動向調査」調査概要

1) 目的

業界の動向や変化を的確に示すデータの構築により、会員社の経営に役立つ情報提供、及び、協会活動の一つとして、社会に対し、外食産業からの信頼性のある情報提供を目指す。

2) 調査構成

毎月、会員社本部より新規店の売上高も含めた全店に関する調査を全国規模で実施する。

3) 集計方法及びデータ数値

回答事業社数をベースにした前年同月比を指標とする。

4) 業態分類

業態に関しては経済産業省商業統計を参考に区分した。

		利用形態	提供内容	客単価
業 態	ファーストフード（注）	イートインあるいはテイクアウト	食事中心	やや低い
	ファミリーレストラン	イートイン中心	食事中心	中
	パブレストラン／居酒屋	イートイン中心	食事及び酒類	やや高い
	ディナーレストラン	イートイン中心	食事中心	高い
	喫茶	イートインあるいはテイクアウト	ソフトドリンク中心	低い

注) ファーストフードはテイクアウトの業態も含む。

5) 実施概要

3月度有効回収の事業社数／店舗数は以下の通りである。

【全店データ】

		事業社数	店舗数
全 体		203	39,165
業 態	ファーストフード	53	21,552
	ファミリーレストラン	55	10,395
	パブレストラン／居酒屋	36	2,849
	ディナーレストラン	28	1,177
	喫茶	15	2,049
	そ の 他	16	1,143

注1) 業態に関しては通産省商業統計を参考に区分した。

注2) 全体は各業態を合計した延べ事業社数である。

注3) ファーストフードはテイクアウトの業態も含む。

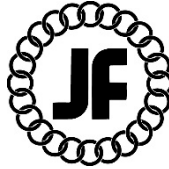
注4) その他は総合飲食、宅配ピザ、給食等を含む。

6) 参考資料

休日日数及び天候情報

* 雨天日数は1ミリ以上の雨の降った日数である

	休日日数	土曜日日数	東京都		大阪府	
			雨天日数	平均気温(°C)	雨天日数	平均気温(°C)
2019年 3月	6日	5日	9日	10.6	12日	10.6
2020年 3月	6日	4日	10日	10.7	9日	11.4



令和2年4月27日

新型コロナウイルス影響下の4月の売上予想について（概況）

一般社団法人日本フードサービス協会

新型コロナウイルスの感染拡大が国民生活に与える影響は2月、3月と日を追うごとに大きくなっている。外出が大幅に減り、集客が見込めない状況が続いており、外食産業は苦境に立たされている。

4月7日に政府が7都道府県を対象に発令した「緊急事態宣言」では、業種によっては社会機能維持のために事業継続が求められており、外食産業(食堂、レストラン、喫茶店、宅配・テイクアウト)もその範疇に入るが、その直後に東京都は、飲食店(テイクアウトを除く)等には営業時間の短縮(朝5時～夜8時の間での営業、酒類の提供は夜7時まで)を要請した。その後、全国の多くの自治体で東京都の要請に合わせる動きが広がったことで、外食産業でも全国的に営業時間短縮や休業に踏み切るところが増加し、4月は更に大幅な売上減少が予想される。

◎急速に広がる休業・営業時間短縮の動き

自治体などの要請を受け、休業や営業時間短縮を行う外食企業が増えている。

・ファーストフード、ファミリーレストランの多くは、「営業時間短縮」を実施

(一部商業施設立地店舗は休業)。

・パブ・居酒屋、ディナーレストランの多くは、「休業」を実施

◎飲酒業態を中心に、大幅な売上減少の予想

従来からテイクアウト比率の高いファーストフードでは、テイクアウトに特化する動きも見られた。これまでテイクアウトがあまりなかった居酒屋、ディナーレストラン、ファミリーレストランでも持ち帰りに取り組む動きがみられるが、本来の売上を取り戻すことは到底できず大幅な売上低下が予想される。

居酒屋、ディナーレストランでは、本来4月は歓迎会など宴会需要が見込まれる時期であるが、休業等により、そもそも売り上げが立たず、売上高が前年比数%程度しか見込めないところもある。

以上